

# 藤原地域まちづくり懇話会の結果

日時:令和4年7月25日(月) 14時～

場所:藤原庁舎

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
1	鬼怒川小学校地区は、学校地域評議員会と地域教育運営協議会という二つの活動をしているのですが、学校運営協議会との大きな違いを教えてください。	学校運営協議会については、学校を核とした地域づくりを進めてゆこうというのが大きな目標です。新たな組織を立ち上げて活動の展開、組織を作るというよりも、今ある各学校でご協力、活動いただいている団体または参加する方々たちと議論しながら、地域と共に学校を活性化して行こうという内容です。	—
2	行財政改革の組織の最適化などによる人件費や物件費の削減という点で、市と直接関係はないと思いますが、市社会福祉協議会の藤原支所では職員が4名体制だったものが、現在は2名となっています。人件費削減等でやむを得ないと思いますが、社会福祉協議会でなくても、極端に人員を減らすということを疑問に思います。	社会福祉協議会は独立した社会福祉法人ですが、行政と同じように人員の適正化と効率的な組織を考えているところです。その中で地域担当部署の人事の増減や新しい課題、いろいろな事業に取り組むための工夫をし、効率的な人員配置をされているのではないかと考えます。	—
3	選挙の投票時間について、人件費削減という観点から、もう少し時間短縮はできないでしょうか。期日前投票を1～2週間で実施しているのでもう少し短縮できると思います。 また、投票率の低下ということを言われますが、高齢化で施設に入っている人が増えており、そういう方は施設での投票の申し出があれば、役所に対応すると思いますが、施設での申し出がなくても、投票率を上げるためには、投票できる何らかの対策は必要かと思えます。	期日前投票も増え、現在、全市的に投票の在り方を模索しています。有権者数の少ない投票所や、投票者数にばらつきのあるところもあるので、今後投票所の再編というも視野に入れてゆかなければならないということは伺っています。そのために、期日前投票だけではなく、バス、ワゴン車などの車両を移動投票所として走らせて、そこで投票できるような仕組みや、デジタルトランスフォーメーションの活用可能性と合わせて、投票所の数や投票時間が整理されていくことになるかと理解をしているところです。 高齢者等の施設等の入所の方については、現行の法律上の制度として、施設からの申し入れにより不在者投票という方法があります。 一つだけの対応でうまくできるのかというと難しいところですので、全体の投票率向上のためにも、全体を見て対応することが必要なのかという理解をしています。	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
4	<p>今年度12月に民生委員の一斉改選がありますが、なかなか次の委員が見つかりません。改選がスムーズにできるような仕組みがあれば良いのではないかと考えています。</p> <p>以前に民生委員に委員を補助してくれる人がいないか、アンケートを取ったことありますが、その時の回答は「いない」が多かったと思います。仕事に就いている方が多く、なかなか新たな民生委員が見つからないのも問題の一つだと思っています。</p> <p>地域ケア会議は福祉や民生委員にも関わってきますが、施設に入る方もおり、包括支援センターの方が色々お世話をしているので、その辺の活動が重視されればよいのではと思います。</p>	<p>平成29年に民生委員に委員をサポートする「民生委員協力員(仮名)」の設置について伺い、70.7%の方の設置を希望しないという結果を踏まえて、その設置を見送ったという経緯があります。しかし、民生委員の負担というのは大変ですので、他の形で、できる限り民生委員の活動を支えて行くための工夫をしたいと考えています。</p> <p>幸いにも現在の民生委員の欠員は全市で1名です。今までになく充実している状況ですが、今回の改選においても欠員が出ないような形が一番だと考えています。</p> <p>地域ケア会議につきましても、民生委員に全市的なもの、地区単位、個別のケース会議の三層構造でそれぞれご協力をいただいておりますが、個別ケースの対応、地区別の課題解決、全市的な課題解決がそれぞれ充実することが地域包括ケアシステムの充実につながると思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。</p>	—
5	<p>日光市では、移住、定住者をいかに増やすかが課題だと思えますが、今、力を入れているワーケーションやテレワークは有効であると思えます。</p> <p>ワーケーションを長期滞在時に地域のお祭りボランティア等を組み込んでいるところが他県にあります。日光市も様々なイベントがあり、人材不足、観光関係者や、地域の方に関わっていただくことが課題でしたが、このような形で他の地域から参加してもらうのもありかなと感じています。</p> <p>長期滞在者がワーケーションを進めるにあたり、コワーキングスペースに仕事のみで過ごすだけでなく、アクティビティなど色々な観光地巡りのコンテンツを提供し、その魅力を発信、販売するのは、旅行者でしかできないという壁もあります。</p>	<p>ワーケーションは日光市に来られる方々がリピーターになって地域に根差し、より良い関係をもって最終的に移住・定住に繋げるための入り口論であり、これをいかに充実させるかということを考えています。</p> <p>今年度、市では独自に市外の事業者、プレーヤーとなる市内の各事業者、そこを利用する方々で協議会を立ち上げ、総合的にワーケーションをどう進めるか検討しています。</p> <p>地域のお祭りとのコラボレーション、コワーキングスペース、アクティビティとの連携など有機的に結び付ける地域のプラットフォームを作りながら、かつモニターツアーを今年度進めようと考え、それらを実施する協議会と市が連携を取りながら、いずれ民間主体の協議会として盛り上げてもらい、地域と一体となって取り組めればと考えています。</p> <p>日光市でしか体験できないものも多くありますので、それらも視野に入れながら検討したいと考えています。</p> <p>コワーキングスペース設置等もなかなか難しいですが、民間の方の設置等のご協力、引き続きお願いします。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
6	<p>日光市は以前、観光圏に取り組んでいましたが、観光圏では、例えば、旅行業者しか販売できなかったものがホテルなどでも販売できるとか、バスの路線など作成するときに届出だけで済むとかといったような特区的なものがあるようです。それがあればすごく便利と感じています。この観光圏がなくなってしまった理由と今後の方向性などについて考えていただきたいと思います。</p>	<p>観光圏整備については、平成20年に「観光圏の整備による観光誘客の来訪及び滞在の促進に関する法律」が施行され、その計画を策定をすることで、宿泊施設が旅行業の代理業、旅行業法の特例、運送事業の設立緩和の特例などが受けられるというものです。</p> <p>市では平成21年度から25年度までの5年間の計画を策定しました。本来この事業は地域を越えた広域活動で、複数の市町村が広域圏という形で作成するのが本来の目的でしたが、日光市では市町村合併があったこともあり、市単独で5年間の事業が認定されました。</p> <p>その後、平成26年度からまた、国は新たな認定要件を設定しました。その要件は観光地域づくりのプラットフォームの設置及び観光地域づくりのマネージャーの設置などがあり、非常にハードルが上がりましたが、その時市では検討部会を設置し、申請について協議しました。当時、このプラットフォームとして観光協会を検討しましたが、その当時の観光協会は統一の組織ではなかったため、実態的なプラットフォームの設置が難しいという事と、人員の配置等の調整も難しいという事から平成26年以降の新観光圏については見送りました。</p> <p>現在は新観光圏の整備計画は策定されていませんが、今後、市として観光推進体制の再構築の検討を進めていき、体制強化を図ったうえで、新観光圏への取組を検討したいと考えています。</p>	—
7	<p>稀に移住希望のお客様から、バスやタクシーなどの交通が少ないという声があり、やはりそのような交通網の整備も重要ではないかと思っています。このような施策についての考えがありましたら教えてください。</p> <p>交通整備について、なかなかバスの運営はどれも難しいと思っているので、サイズダウンしたものや、それでも違う交通、レンタカーなども考えてゆくのもありかなと考えています。</p>	<p>移動手段の環境として、市内の公共交通においては、東武鉄道、JR、民間バスを軸とし、これらが走っていないところは市営バスが補っています。民間バスや市営バスについては、観光客も含め利用者が少なく収益が上がらず、採算性が成り立たないという路線が大半です。この状況の中で増便はなかなか難しい状況です。</p> <p>観光客を含めいろいろな方々に市営バスをご利用いただき収益を上げ、サービス向上がはかれるように取組を進めていきたいと考えています。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
8	<p>鬼怒川温泉の廃墟問題について、行政による調査や視察等、対応が進んでいますが、市、県だけで対応できるレベルではないので、国の予算をいただくなど、早期解決に向け引き続き廃墟問題の対応をお願いします。</p>	<p>公共施設については、今年度、予防安全という観点から各施設の日常点検を各所管課をお願いしています。また、実施計画においては、細かいものや今まで見過ごしていたものについても所管課から計上してもらうようお願いしています。</p> <p>その中で、本当に早急な修繕を要するもの、修繕等によって魅力の向上に繋がるものに優先順位を定めながら、早めに対応したいと考えています。観光地域なので景観の思わしくないものは市のイメージダウンにも繋がってしまうので、そこは十分な予算がつけられるよう、予防保全の改善を取り入れたいと思います。どの程度できるかお約束は控えておきますが、着手したいと考えています。</p> <p>大規模の廃墟施設については、市が空き家全般として指導すべき案件と考えています。大規模な老朽化施設は景観、環境、安全性の問題から、早期対策が必要な大きな課題の一つととらえています。</p> <p>空き家対策に関する法律の中では、所有者または施設管理者の方が適正管理をすることとなっていますので、それらの方に改善をお願いする形で進めています。昨年度までは登記簿上の所有者に対し、通知による改善をお願いしていましたが、所有者不明、郵便物返戻などで実際、接触が取れていないのが現状です。</p> <p>今年度はそれらの追跡調査を実施し、所有者不明の場合は相続人、代理人、破産管財人等と接触し、きちんと対話ができるような形をとれるよう進めています。また、SNS等で取り上げられているように、建物内に侵入して事故やケガをされては困るので、今年3月に侵入防止対策、4月からはパトロールおよび5月には地域の方とも意見交換させていただいています。建物解体や老朽化対策については道路、河川管理者である県や関係者も含めて取り組みたいと考えています。</p>	-

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
9	<p>鬼怒川公園について、噴水に亀裂が生じて水が漏り、使えないということが15年くらい続いています。また、モラルの話かもしれませんが、公園オープン当時は、牡丹や水仙、紫陽花なども道路にきれいに咲いていましたが、花を持ち帰ってしまう方がいて、牡丹は無い状態です。予算もなく整備されない状況が今も続いています。誘客対策として何らかの対応をした上で、お客様に見ていただき、活性化の一助になればと思います。</p>	<p>鬼怒川公園の噴水に関しては、噴水の水しびきが公園利用者へ掛かってしまうことが衛生上良くないということで、基本的には噴水は循環水を使わないと設置が難しい状況です。循環システム更新もかなり費用がかかり、改修工事はしていません。単に噴水を直すのではなく他の活用を含め検討したいと思います。</p>	—
10	<p>鬼怒川温泉ふれあい橋の鬼の絵が描いてある階段がありますが、絵が劣化しています。若者がInstagramに載せてくれていますが、劣化した絵が載っていますので、メンテナンスなどの費用の予算をつけていただきたいです。</p>	<p>ふれあい橋については、現地を確認した上で対応いたします。</p>	<p>鬼怒川温泉ふれあい橋については、鬼の絵が描かれている階段表面の洗浄と部分的な補修を、10月までに行う方向で考えております。</p>
11	<p>今市から鬼怒川温泉へ向かう街道のマロニエの葉が9月くらいになると、枯れて10月には葉が落ち、約7ヶ月間、丸坊主の状態です。3月まで迎えます。せつかく10月、11月にきれいな紅葉を見に来るお客様も丸坊主のマロニエや枯葉を見ながら鬼怒川温泉に入るという状況です。ほとんどがマロニエの木なので非常に寂しい風景です。そのような風景も少しずつ改善していきたいのですが、県の植栽のため、なかなか簡単にやることのできないので、ご承知おきいただきたいです。</p>	<p>マロニエの件については、後ほど具体的な内容をお聞かせいただき、道路管理者である日光土木事務所等へお伝えしたいと思います。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
12	<p>女将の会で17年前から桜の木を鬼怒川温泉に植えています。市、県、国と土地など植える場所が限られています。商工会議所女性会でも毎年植えています。このような環境整備、魅力ある街づくりという点で、藤原町時代に鬼怒川温泉ロープウェイのところに桜の山を作るという計画があったと聞きますが、今現在、観光バスは道が細くロープウェイまで抜けられない状況です。10～30年先になるかもしれませんが、お客様に来ていただけるよう観光スポットの整備をしていけたらいいなと女将の会でも話しながら活動しています。</p>	<p>景観の問題ですが、市としてはできれば地域の方にお手伝いをいただきながら花を植えたり、草刈りをしたり、きれいな環境にするための取組を行っていきたいと思います。今後は魅力ある景観づくりについて、市でも考えさせていただきたいと思います。予算的な問題で、市がすべて実施することがなかなか難しいので、地域の方のお力を借りながら、良い方法を考えたいと思います。</p> <p>観光視点の環境整備としましては、観光誘客のためには清潔感のある観光施設が日光市にとって魅力の一つと捉えています。例えば公衆トイレについても、国立公園内でもありますので、清潔感あふれる公衆トイレの整備は非常に重要と思っています。日光国立公園満喫プロジェクトの中にも日本一きれいなトイレと謳われているので、そういったことを目指して、国、県と連携しながら整備を進めていきたいと思っています。一方で、トイレの数が非常に多いので、統合や整備も必要と考えています。</p> <p>後期基本総合計画の中の満足度向上のための魅力創出ということで、環境整備は重要ととらえていますので、観光部署として積極的に取り組みたいと考えています。</p>	—
13	<p>鬼怒川温泉に住んで何十年にもなり、鬼怒川と言えば、かなり有名な観光地だったと思うのですが、現在では私たちの住んでいる本町から旭町まで黒鉄橋を渡った方面にはお客様が全くいらっしゃいません。空き地や空き家はたくさんあるので、費用のかかることなのでしょうけれど、そこを何とか利用したり、何か一つだけでもいいので、黒鉄橋を渡ってお客様が足を運んでくれるようなものがあつたらいいのかなと思います。</p>	<p>昔の黒鉄橋周辺はお客様で大変賑わっていた記憶もありますが、現在の観光形態からすると少し難しいかなというところもあります。</p> <p>そのため、総合計画後期基本計画の施策を推進することが重要と考えており、今後、観光誘客につながる事業の実施に取り組みたいと考えています。</p> <p>私が若い頃に泊まりに来た時には本当に大勢の人がおり、どこでも人がたくさん溢れていました。今年度、龍王祭へご招待を受け、黒鉄橋のところでお神輿や花火を少し見させていただきましたが、すごく良い雰囲気です。昔を思い出しました。人の嗜好とか楽しみ方というのは今は変わってきておりましたが、でもあのような雰囲気は、まちづくりの一番の原点でないかと思っておりますので、皆様のご協力をいただきながら、それぞれの場所でこれらのような事を催していただくことによって、観光客に足を運んでいただき、新たな場所を知ってもらうという地域づくりもあるのではないかと思います。探訪するきっかけもできればと思うので、地元の皆さんとも相談しながら昔の賑わいに少しでも近づけるように頑張りたいと思います。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
14	<p>藤原運動公園の周辺、歩道などの草刈りなどを老人クラブで実施しています。隣地から木がせり出して、バスなども通るのに不自由な場所もありますが、そういう場所なども実施しています。</p> <p>市の財政もなかなか厳しいと思いますので、老人クラブに頼んでいただければ、運動公園を利用しているので、清掃等もやらせてもらえたらいいのではないかと考えています。</p> <p>実施の際には、草や枯葉などがゴミ袋で毎回50袋程度が必要なもので、市で無償提供していただけないでしょうか。人に繋がるプロジェクトの互助・共助の意味合いにもなるかと思っておりますので、どうぞ、地域の元気な高齢者もうまく使っていただければと思います。</p>	<p>草刈り、清掃等のボランティア活動で出たゴミについては、市でボランティア袋を用意していますので、自治会や老人会のほうで清掃活動の際に要望していただければ提供できるかと思っております。全市クリーン大作戦など地域の活動でも利用していただいています。</p> <p>また、市ではクリーンパートナー制度もありますので、ボランティア活動の1つの方法としてご活用いただければと思います。</p>	-